

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112K009		体育実技 (武道:柔道) (Physical Education Practice)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 川内谷 一志 E-mail kazushi@oita-ct.ac.jp 内線											
授業の概要	柔道の理念、歴史などについて学習するとともに、柔道の基本動作、对人的技能、また初心者段階的な指導法の習得を目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 基本的な動作が分かってできる。																	
目標2 技を分析し、技能の向上ができる。																	
目標3 初心者の指導法がわかる。																	
目標4 安全に注意して指導ができる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 柔道の歴史、理念の講義																	
2 日本とヨーロッパの柔道の違いについての講義																	
3 礼法、姿勢、進退、組み方、崩し、体さばきの習得																	
4 後ろ受け身、横受け身の習得																	
5 前回り受け身、横転受け身の習得																	
6 袈裟固め、横四方固めの習得																	
7 縦四方固め、肩固めの習得																	
8 固め技の乱取り																	
9 膝車、大腰の習得																	
10 大外刈り、背負い投げの習得																	
11 大内刈り、小外刈りの習得																	
12 払い腰、送り足払いの習得																	
13 立ち技の乱取り																	
14 試合を通して技の習得																	
15 まとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技テスト。				工夫 その 他の	適宜のグループディスカッション										
	B:意見の表現・交換	技のかけ方について発表、討議。															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	インターネット、テレビ等で柔道の試合を観戦する。															
	事後学修	授業で学習した技をテレビ等で確認する。															
教科書	資料																
参考書	中学校保健体育科指導要領																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	実技テスト	70%															
	技のかけ方についてグループでの話し合い内容	30%															
注意事項	遅刻・欠席を留意																
備考	予習と復習を推奨する																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	当該科目に関し、豊富な実務キャリアを有する